

日本地域福祉学会

No.65 2011.5.30

発行 日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館401

TEL 03-5363-1518 FAX 03-5363-1519

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jracd/> E-mail chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp

発行人：牧里每治 編集人：和気康太

CONTENTS

学会員のみなさんへの呼びかけ … 1 「東日本大震災復興活動支援金」 への募金のお願い …………… 2
東日本大震災と東北の地域福祉の課題 …………… 3
地域を見据えた活動 …………… 6
東日本大震災に寄せて …………… 6
福島県からの震災レポート …… 7
被災地支援の中で感じた事 … 8
編集後記 …………… …… 8

学会員のみなさんへの呼びかけ

日本地域福祉学会 会長 牧里每治

本年3月11日14時46分、三陸海岸沖を発生源とする地震が想像以上の未曾有の被害を広く東日本一帯にもたらしました。地震のみならず、ほんの短時間での大津波が根こそぎ町を破壊し、瞬く間に大規模火災を引き起こし、多くの人命と財産を灰燼に帰してしまいました。海岸線の崩壊と主要幹線の破壊は人命の救出と行方不明者の発見を困難に陥れるのみならず、ライフラインの破壊が緊急支援も難しくしました。さらに震災津波による原子力発電所の破壊が放射能漏れによる被害をもたらした混乱に追い打ちをかけています。阪神大震災を想像以上に上回る被害と混乱をもたらした東日本大震災は、およそ2ヶ月になろうというのにいまだに被害の規模と深刻さを測ることを不能にし、多くの所在不明者と緊急避難者の実数把握を困難にしています。

このような状況下において、本学会としても大災害の難局に立ち向かうべく学会を代表して会長として声明を出すものです。既に学会員の中には被災者でありながら救援に立ち上がっている方もおられ、また救援・支援のための現地調査に先発隊として被災地に入っておられる方もいます。本学会としても被災地に支援本部を設置するとともに被災地周辺に応援本部を緊急設置させていただきました。救援・復旧は一刻を争う事態でありますので、会員の消息・安否の確認と被害状況の把握についてはできることから着手してきました。また多くの会員、地方委員、地方理事の方々による支援活動が続けられています。しかしながら、多くの機関・団体が救援・支援活動を展開するなか、連携・協働しなければ無用の混乱と不安感を煽るだけになる恐れもあります。ともかく、本学会として会員のみなさんの個人的な活動に終わらせないで、組織的、系統的に動けるよう災害支援本部を立ち上げ、迅速に対応する必要から有志の会員で対応してきました。

今回の広域にわたる震災の被害の影響は、一部の日本にとどまるものではなく、日本社会全体に広く、深く傷を残すものになるだろうと認識しております。その意味では、震災からの復興は気の遠くなるほど長く時間のかかる、想像を絶した厳しいものになるだろうと推測されます。まさに根底から破碎された地域社会を再生する復興の取組に本学会は腰を据えて付き添っていかねばなりません。また、震災復興・地域再生は、地域福祉を標榜する本学会の使命でもあると確信しています。被災地の生活再建、地域復興、さらに地域再生は、今後の数十年にわたる日本社会の経済・政治・文化